

『心に残る文化財子ども塾』学習指導案

日 時：令和 6 年 1 1 月 1 4 日（木） 8:40 頃～11:30

場 所：松江市立佐太小学校

対象者：6 年生 1 4 名

指導者：佐太小学校：山下 倫生、福岡 久代、牛尾 良子

埋文 C…椿 真治、他 1 名

1. 主題 縄文時代～古墳時代の学校周辺の古跡について

※徒歩で鹿島民俗資料館、バスで堀部 1 号墳を見学

2. ねらい

- ・地域の歴史・文化財を素材とした歴史学習を通し、郷土の歴史や文化に対する興味、関心を高める。
- ・古墳を見学し、古墳の大きさや出土品等から古代に対する理解を深める

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
① 講師紹介と本時の流れの確認（30分） 学校を出発して、鹿島歴史民俗資料館までの道のりにある貝塚等を歩きながら見たり、話を聞いたりする。	・講師紹介および埋文 C の仕事の紹介・見通しをもって本時の学習ができるように 学習内容を知らせる。 ・古墳の様子について、事前の社会科の授業で学習をしておく。
② 鹿島民俗資料館の見学（45分） 館内を見学し、古墳の出土品の実物などに触れる体験をする。	・一方的な説明に終始せず、子ども達が主体的に「気づき」を得られるよう質疑応答の対話形式で進行をする。
③ 古墳見学（45分） 発掘調査中の堀部古墳群にある 1 号墳を見学し、古墳の大きさや古墳の発掘体験などを行う。	
④ 質疑応答・学習のまとめ（5 分）	・担任が進行／児童の数名に授業全体の感想 を聞き、学習の振り返りをする。 ・児童アンケートの記入は別の時間に行う。

4. 準備物等 ・小学校 … カメラ（学校記録用） ・児童 … 水筒、長靴

・古代文化センター … 解説用パネル、配布資料、アンケート用紙、カメラ等

5. 服装・・・動きやすい服